

# 2010 なはモビリティウィーク&カーフリーデー

## 実施計画書



平成22年度

那覇市都市計画課

## 名 称

### 2010 なはモビリティウィーク&カーフリーデー

## 趣 旨

- ・ モビリティウィーク&カーフリーデーの理念自体を紹介するため
- ・ 誰もが移動しやすいまちづくりを目指す那覇市の交通政策の一環として実施
- ・ クルマから解放された快適な都市生活を体験してもらうため
- ・ 公共交通の存在意義を認識してもらうため
- ・ 「車中心のまち」から「ひと中心のまち」へ、市民一人ひとりの意識改革を促すため
- ・ 地球温暖化、大気汚染等の環境問題に対し、交通面からできることを考えてもらうため
- ・ 那覇市の中心市街地の魅力を再発見し、にぎわいを作り出すため

## 主な取り組み

- カーフリー宣言者の目標 1,000 人(キャンペーンの充実)
- 次世代への「クルマに頼らない暮らし」社会啓発(ポスターコンクール)
- 歩行空間の改善(歩きたくなるなはのまちプロジェクト)
- 交通基本計画策定の情報発信(紹介・パネル展)

## スケジュール

2010年9月12日、16日(木)~22日(水)

【雨天時】屋外の展示、試乗系イベントは中止。ただし、その他のイベントは部分実施等、状況により判断する。

【台風時】期間中、台風(強風域)が到来した日は全てのイベントを中止。

### 2010年9月

日	月	火	水	木	金	土
12 市長開催 あいさつ ポスターコンクール 表彰式 (パレット前) 12-16時	13	14	15	16 モビリティウィーク 初日 街頭キャンペーン (パレット前) 8-10時	17	18
				モビリティウィーク期間(16~22日)		
19 展示・体験・ 試乗系 イベント (てんぷす) 9-16時	20 敬老の日 展示・試乗系 イベント (てんぷす) 9-16時	21	22 カーフリー イベント (新都心) 9-12時	23 秋分の日	24	25
			モビリティウィーク 最終日			

## 実施内容

### カーフリー宣言

- ・ 一般募集

9/16～22の1週間、クルマに頼り過ぎない暮らしを実践することを宣言する「カーフリー宣言」をイベント会場およびインターネットで9/1から募集します。(9/1の市長定例記者会見で発表予定)

昨年は470名の宣言がありましたが、まだまだ官公庁への依存度が高く、なは市民全体のイベントになっていません。そこで今年は沖縄経済同友会の参加企業を中心に、民間企業への宣言拡大にむけ、働きかけしていきます。目標人数は1,000人です。

### ポスターコンクール

- ・ 「クルマに頼らないなはのまち」

市内の小学生4～6年生に「クルマに頼らないなはのまち」と題してポスターを募集します。10年後にはクルマを持つ世代となる彼らに、交通と環境について考えてもらうきっかけとして開催するもので、表彰式は9/12(日)のステージイベントで市長から表彰してもらいます。また応募作品はモノレール駅や市役所庁舎に掲示します。子供の取組をきっかけに、親や家族にもその波及効果を期待します。

### ステージ系イベント(12日)

今年のもびリティウィーク初日(16日)は平日にあたるため、その前の休日(12日)にパレットくもじ前広場にてカーフリー宣言、ポスターコンクール表彰式など、ステージ系のイベントを行い、市民にもびリティウィーク&カーフリーデーをアピールする。

- ・ 那覇太鼓演舞
- ・ 市長挨拶
- ・ 琉神マブヤーによるマブヤーダンス  
イベントの注目を集めるために琉神マブヤーにダンスを踊ってもらいます。
- ・ 市長によるカーフリー宣言
- ・ 市長・琉神マブヤーによるポスターコンクール表彰式  
ポスターコンクールの入賞者には市長から賞状を、琉神マブヤーから記念品を手渡してもらいます。
- ・ 市長・琉神マブヤーによる街頭キャンペーン  
チラシを配布して協力を呼びかけます。5分程度

### 展示系イベント(19日、20日)

てんぶす那覇前広場においてパネルや乗り物の展示をします。

- ・ 交通基本計画、地域連携計画の紹介 2枚  
平成21年度に策定した両計画の紹介です。10～20年後の那覇市の交通まちづくり方針を示します。
- ・ 移動手段別競争の結果パネル展 2枚  
都市部における移動手段として、必ずしもマイカーが優位ではないことを実証実験した結果です。
- ・ 海外の都市交通紹介パネル展 2枚
- ・ 地球温暖化協議会 テント1張
- ・ ゆいレールの紹介 2枚
- ・ バスの使い方アドバイスコーナー 別途コーナー設置
- ・ なはのまち発見クイズラリー 別途コーナー設置
- ・ 電気自動車展示
- ・ 電動バイク展示
- ・ 日傘効果検証パネル展 1枚  
22日の歩きたくなるなはのみちプロジェクトに向けて、日傘の効果を実証実験した結果を展示します。

## 体験・試乗系イベント（19日、20日）

- ・ なはまちなかウォーク（19日、てんぶす）  
案内人と一緒にまちめぐりし、まちの魅力を発見します。市民に一般公募します。
- ・ 自転車でまちめぐり（20日、てんぶす）  
自転車でまちめぐりし、まちの魅力を発見するとともに、自転車利用のマナー、走り方を学びます。
- ・ 無料貸出自転車（19日、20日モノレール県庁前、美栄橋、牧志駅）  
無料貸出することで、自転車の利便性を体験してもらい自転車の普及を目指します。
- ・ 環境にやさしい乗り物体験試乗（19日牧志壺屋線通行止区間、20日てんぶす周辺）  
セグウェイ体験試乗（19日）協力：フェルマータ（株）  
シニアカー体験試乗（19日、20日）協力：(株)沖縄ヤマハ、スズキ自販(株)  
電動自転車体験試乗（19日、20日）協力：(株)沖縄ヤマハ、NPOしまづくりネット  
おもしろ自転車体験（19日）協力：プラネットチャオ

## カーフリーイベント（22日）

- ・ 公共交通サービスの向上  
モノレールの増便やバス会社からの協力のうでカーフリーデーのねらいである「公共交通を推進し強化する」のため、市民に利用してもらおうきっかけ作りをおこないます。
- ・ 歩きたくなるなはのみちプロジェクト  
モノレールやバスは市民の移動手段の一つとして定着してはいるものの、亜熱帯気候であるがゆえに家から駅、目的地までの移動(とくに徒歩)に難儀するため、なかなかクルマ中心の生活から転換できずにいます。そこで、おもろまち駅や58号線沿いのバス停など新都心エリアで日傘の貸出を行い、また、交差点付近などにテントを設置し、仮想の緑陰を形成することで涼しく信号待ちできるようにするなど、歩きやすい環境を作ることで、亜熱帯気候の沖縄でも快適に歩くことができることを体験してもらいます。とくに歩くことは健康増進効果も高く、まちに活気をもたらす効果もあるため、新都心で働く人々を中心に働きかけを行い、健康的で快適な通勤を実感してもらいます。最後に主催者、関係者でおもろまち駅から本庁仮庁舎までパレードを行い、市民に対しアピールします。

## 同日開催イベント（19日、20日）

- ・ サクラザカマルシェ  
MW&CFDのイベント開催に合わせ、地域ににぎわいをもたらすため、地元根付いた活動を展開する映画館「桜坂劇場」が周辺店舗を集めて開催する青空市「サクラザカマルシェ」を同日開催します。同日開催することでお互いのイベントの集客が相乗効果を生むことが期待できます。

## 会場

### パレットくもじ前広場

9月12日(日) ステージイベントを行うため、ステージ、音響設備、テント設営を行う。ステージおよび音響施設一式は久茂地都市開発株式会社から借用する。  
テント、テーブル、パイプ椅子、は銘苅・前島小学校から借用  
琉神マブヤー、市長のための控え室をパレットくもじ内の会議室を借用する。  
パレットくもじ前広場の使用許可を道路管理室および久茂地都市開発株式会社に申請する。

### てんぶす那覇前広場

9月19(日)、20(月) 展示イベントを行うため、テント設営、パネル設置を行う。  
テント、テーブル、パイプ椅子、は銘苅・前島小学校から借用

夜間はテントをたたみ、パネルなどはてんぷす那覇に用意する控え室に片付ける。  
 19(日)は体験イベントの集合場所となるのでマイクとスピーカーを厚生会から借用する。  
 広場の使用許可を道路管理室に申請する。

### 牧志壺屋線（希望ヶ丘公園東側線）

9月19(日)の12時～18時、国際通りのトランジットモールに合わせて通行止めにし、セグウェイ、シニアカー、電動自転車など、環境にやさしい乗り物の試乗スペースとする。  
 通行止めにする範囲はカラーコーン、コーンバーで仕切り、通行止めの看板を桜坂側に設置する。

隣接する宿泊施設への車両の出入りは誘導員を付けて対応する。  
 通行止めのために道路使用許可を那覇署に申請する。

### 希望ヶ丘公園

9月19(日)、20(月)12時～17時、サクラザカマルシェ（青空市）を開催するため、公園管理室に使用許可を申請します。

## 主催等

分類		団体・企業
主催		那覇市
		NPO法人しまづくりネット
協力		カーフリーデージャパン
後援	行政等	沖縄総合事務局
		沖縄県
		那覇警察署
		那覇市国際通り商店街振興組合連合会
		那覇地区交通安全協会
	交通事業者等	沖縄都市モノレール(株)
		沖縄県バス協会
		沖縄県ハイヤー・タクシー協会
	報道機関	新聞(琉球新報・沖縄タイムス)
		テレビ(NHK、OTV、RBC、QAB、OCN)
		ラジオ(ラジオ沖縄、琉球放送、FMレキオ、タイフーンfm)
	その他	沖縄経済同友会
	協賛	
		株式会社クラック(サクラザカマルシェ)
		株式会社沖縄ヤマハ(シニアカー)
		那覇太鼓

沖縄プロレス
フェルマータ・株式会社(セグウェイ)
那覇市地球温暖化対策協議会
沖縄自転車便
沖縄県二輪車安全普及協会
(社)那覇市観光協会
NPO 法人 オムニバスデザイン社(バスの使い方アドバイス)
気候アクションセンターおきなわ(バスの使い方アドバイス)
沖縄日傘愛好会
株式会社ターボ沖縄
沖縄電力株式会社
オリオンビール株式会社
沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

2010.9.1 現在(随時更新予定)

### 実行委員会名簿

役 職	所属等	備考
特別委員長	那覇市長	主催
委員長	NPO法人 しまづくりネット 理事	主催
副委員長	那覇市 都市計画部 都市計画課 課長	主催、事務局長兼任
委員	那覇市 市民文化部 市民協働推進課 課長	市民団体との協働、広報
委員	那覇市 環境部 環境政策課 地球温暖化対策推進室 室長	環境系イベント、広報
委員	那覇市 建設管理部 道路管理室 室長	交通広場管理者
委員	那覇市 経済観光部 なはまちなか振興課 課長	中心市街地活性化
委員	バスマップ沖縄 谷田貝 哲	EUモビリティウィーク 体験者

実行委員会事務局 : 那覇市都市計画課、NPO法人しまづくりネット

事務局長 : 那覇市都市計画課 課長

## 2010 なはモビリティウィーク&カーフリーデー メニュー一覧表【案】

9/12(日)	ステージイベント 街頭キャンペーン	パレットくもじ前広場 ・市長による 2010 なはモビリティウィーク&カーフリーデー開催挨拶 ・市長によるカーフリー宣言 ・市長、琉神マブヤーによるポスターコンクール表彰式 ・太鼓演舞：那覇太鼓 ・マブヤーダンス ・市長、琉神マブヤーによる街頭キャンペーン
	公共交通の利便性向上	ゆいレール増便
9/16(木)	街頭キャンペーン	パレットくもじ前広場 ・沖縄プロレス、職員による街頭キャンペーン ノボリ振りやチラシ配り等を行う
9/17(金)	イベント	・カーフリー実施日
9/18(土)	イベント	・カーフリー実施日
9/19(日)	イベント(12～18時)	てんぶすなは前広場 ・なはまちなかウォーク ・パネル、環境にやさしい乗り物展示 ・地球にやさしい乗り物体験試乗 国際通りトランジットマイルも通常通り実施
9/20(月)	イベント(12～18時)	てんぶすなは前広場 ・自転車まちめぐり ・パネル、環境にやさしい乗り物展示 ・地球にやさしい乗り物体験試乗
	公共交通の利便性向上	敬老の日70歳以上無料
9/21(火)	イベント	・カーフリー実施日
9/22(水)	イベント(7:45～8:30) 街頭キャンペーン	カーフリーデー おもろまち駅～サンエーメインプレイス～58号線 ・歩こうなはのみちプロジェクト ・市長、日傘愛好会、那覇観光キャンペーンレディ、職員による街頭キャンペーン

カーフリー宣言(ホームページで募集)

沖縄都市モノレール株式会社 9月20日(敬老の日)は70歳以上無料

沖縄都市モノレール株式会社が、カーフリーデー実行委員会事務局へカーフリーデーのデザイン入りゆいカード(500円)を300枚提供依頼予定。

## ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの理念

毎年9月16日～22日に世界各地で「ヨーロッパモビリティウィーク」という社会的なイベントが行われています。環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に「人」中心の賑わいを創り出していくため、「クルマの使い方」を見直そうというものです。

カーフリーデーは、そのヨーロッパモビリティウィークの最終日に行われる中心イベントで、都心部において1日マイカーを使わない地区を創り出し、市民1人1人がクルマのない都市環境を体験し、その変化を実感し考えることをねらいとしています。

ヨーロッパモビリティウィーク(European mobility week)

2002年から実施されているカーフリーデーを発展させた欧州委員会(環境総局)のプロジェクトです。カーフリーデーを最終日とした1週間を、都市交通を考える交通週間として位置づけ、新しい交通施策を展開する機会となっています。

毎年決められるテーマに従い、公共交通機関・自転車・生活道路・緑の道等のほか、都市文化・公共空間・健康・安全を考える催しが日替わりで行われます。市民1人1人が持続可能な都市交通や移動方法について考える機会となることを目指しています。

(2010のテーマ、「Travel Smarter, Live Better(より賢く移動し、より快適に暮らそう)」)

カーフリーデー(Car free day)

1997年にフランスのラ・ロッシュェルで行われた「クルマのない日」が発端となっている、クルマと都市・地球環境・都市文化を考える1日です。街ではクルマに頼らなくても日常生活には支障がないことを実感してもらうために、市民1人1人がクルマから開放された都市環境の変化を体験します。

1998年からフランス、2000年からはEUのプロジェクトとなり、毎年9月22日に実施されています。今では、モビリティウィークの中心イベントとなっています。

ねらい

大気汚染の問題を認識する	公共交通を推進し強化する
人や自転車の空間を優先する	地域の資産を再認識する

カーフリーデーの具体的実施内容

モビリティウィークの中心イベント「カーフリーデー」では、世界各地、毎年9/22に、朝から夕方まで、普段はクルマに占拠されている都心部の、ある一定の地区内へのマイカーの乗り入れを禁止し、公共交通や自転車と共に歩行者のための都市空間を創り出します。マイカーに頼らなくてもその移動を制約されることがないように、公共交通の増便(その運賃は通常よりも安いか無料)やシャトル便で連絡される駐車場の確保、相乗りの促進、レンタル自転車などが設置されます。

環境について考えるキャンペーンや展示会なども様々な団体が参加して行われ、新しい交通施策の導入の場ともなっています。歩行者天国とは、実施目的や内容が全く異なります。

カーフリー(Car free)

「クルマから開放されましょう」又は「クルマに束縛されない」という意味合いを持っています。

モビリティ(Mobility)

「人々の移動しやすさ」又は「移動性」という意味合いを持っています。

